

第12回 日本質量分析学会 北海道談話会・研究会

一般講演 13:35 ~ 14:25

ケルセチンの吸収促進とケルセチンの LC-MS/MS 分析法検討

田中 誠也 (北海道大学大学院 農学院)

ポリフェノールの一種ケルセチンは、抗酸化作用や抗ガン作用を持つが、その吸収率が低い。本発表では、ラットを用いたケルセチンの吸収促進のための研究を紹介する。また、ケルセチン測定法を現行の LC-MS から LC-MS/MS へ変更する検討も紹介したい。

LC-MS を用いた紅藻ソゾ属 *Laurencia* 由来のハロゲン化酵素の解析

金子 賢介 (北海道大学大学院 環境科学院)

紅藻ソゾ属 *Laurencia* は、ハロゲン (特に臭素と塩素) が付加した二次代謝産物を産生することで知られ、現在までに 600 を超える化合物が単離・報告されている。ソゾ由来のハロゲン化合物は、その構造の特異性や生理活性から産業面への応用が期待されている一方で、それらの生成に関しては、あまり研究が進められていない。今回、ソゾ由来ハロゲン化合物の臭素付加過程において、その酵素の同定と、推定生成前駆体を用いた *in vitro* 臭素付加反応について、nanoLC-MS/MS と LC-MS/MS を用いた解析を行ったので報告したい。

特別講演 14:25 ~ 15:25

キラルブラインドな方法でキラル解析！？

蟹江 治 (東海大学 糖鎖科学研究所)

質量分析法はキラルブラインドである。しかし、ジアステレオ異性体であれば原理的に判別が可能である。この原則に基づき一キラル中心を持つ低分子化合物をキラル補助団で誘導化してジアステレオマーとして、CID エネルギーの解析をおこなった。この結果、ジアステレオマー間には活性化エネルギーに差異があり判別が可能であることがわかった。計算化学的手法によりこの説明ができればキラル決定が可能と考えている。

コーヒーブレイク 15:25 ~ 15:40

企業からの技術報告の部 15:40 ~ 16:55

超純水製造技術の紹介と分析への応用

奥山 直人 (オルガノ株式会社)

WatersMS 新製品と新アプリケーション

藪 昌世 (日本ウォーターズ株式会社)

DART-MSによる直接分析の新展開

塩田 晃久 (エーエムアール株式会社)

LC/MS/MS を用いた高速分析に最適な LC カラムのご紹介

寺島 弘之 (ジーエルサイエンス株式会社)

イオンモビリティがもたらすメリット

前田 齊嘉 (アジレントテクノロジー株式会社)

ポスターセッション 16:55 ~ 17:30

総合討論 18:00 ~ 19:30

会場：創成科学研究棟 1階レストラン「ポプラ」
会費：1500円 ※当日ご欠席の場合もご負担していただきます
事前の申し込みが必要です (9月30日まで)

参加無料

当日参加も歓迎です
気軽に普段着で
ご参加ください

2014

10/24 (金)

13:30 ~ 18:00

受付13:00~

会場

北海道大学創成科学研究棟
5階大会議室

札幌市北区北21条西10丁目

ACCESS



お申し込み ①氏名②所属③日本質量分析学会員の有無④総合討論会参加の有無を添えて、下記の問い合わせ先へメールでお申し込みください。 ※資料をご用意しますので事前申込にご協力ください

お問い合わせ 北海道談話会代表世話人 岡 征子 (北海道大学 創成研究機構 共用機器管理センター委託分析部門) E-mail : hokkaido13@mssj.jp

主催 日本質量分析学会北海道談話会 <http://cent-scorpio.asahikawa-med.ac.jp/akutsu/mass/HMSM/>

